

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年2月26日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから2月26日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

本日は2番の審査会合の関係からです。

1ページ目の真ん中のほうを御覧ください。3月2日火曜日、(2) 令和2年度第3回研究推進委員会。こちらですが、議題は大きく2つございます。

議題の1つ目は、放射線安全規制研究戦略的推進事業に関しまして、令和3年度の調査研究として応募のあった研究課題のうち一次審査を通過した課題につきまして、研究の代表者から説明を受けて、令和3年度の新規の課題を決定するものです。

議題の2は、同じく放射線安全規制研究戦略的推進事業に関しまして、2月18日の第2回研究評価委員会で、令和2年度に実施中の研究課題11件について、実施状況の評価を行っております。今回はその評価結果を踏まえて、令和3年度にも継続する研究課題を決定するものです。

続きましてその下、(3) 第952回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。

この議題ですけれども、東北電力女川原子力発電所2号機の設計工事計画認可に関しまして、地下水位の設定についての昨年7月14日の会合のコメント回答を受けるとともに、今年2月19日の補正申請の概要説明等を受けるものです。

続きまして、1枚おめくりいただいて2ページ目を御覧ください。一番上です。(4) 第395回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。

議題ですが、日本原子力研究開発機構（JAEA）の高速実験炉「常陽」の設置変更許可に関しまして、Beyond DBA、多量の放射性物質等を放出するおそれのある事故、今申し上げましたBeyond DBAとして選定されました事象の炉心損傷防止対策などにつきまして説明を受けるものです。

では、続きましてその下に行きます。3月4日木曜日、(7) 第953回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。

議題ですが、こちらは2つサイトがございまして、東京電力柏崎刈羽原子力発電所7号機の特定重大事故等対処施設、また、日本原電東海第二発電所の特定重大事故等対処施設

設、これらの設置変更許可に関する審査を行うものです。

続きまして、その下です。(8) 第6回福島第一原子力発電所廃炉・事故調査に係る連絡・調整会議。こちらは金子長官官房審議官の対応となります。

議題ですが、1月27日の原子力規制委員会で意見募集の実施について了解を得た中間取りまとめの案に関しまして、規制庁から内容の説明を行うものです。

では、1枚おめくりいただきまして3ページ目を御覧ください。一番上から参ります。3月5日金曜日、(9) 第8回継続的な安全性向上に関する検討チーム。こちらは更田委員長と伴委員、それぞれの出席となります。

議題ですけれども、委員の一人から規制機関と事業者の関係の在り方についてプレゼンテーションを受けた後、議論を行うものです。

続きまして、(10) 第396回核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合。

こちらはJAEAの高速実験炉「常陽」の設置変更許可に関しまして、地下水位の設定についての昨年11月6日の会合のコメント回答を受けるものです。

最後です。(11) 第19回東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会。こちらは金子長官官房審議官の対応となります。更田委員長も出席の予定です。

議題ですが、こちらはパブコメの終了した中間取りまとめの案に関しまして、意見募集の結果を報告するとともに、中間取りまとめの案の修正について検討を行うものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—